

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	0	おやつを食べ終えた後や、お休みの日の食後などは、机を端に動かし、動線の確保をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	7	1	0	基準人員や加算人員を下回らないことはもちろん、子どもへの支援に適切な人数であるように常に意識している。 現在は子ども10名に対して6名のスタッフで支援にあたっている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1	0	事業所がバリアフリー構造になっている。トイレに手すりを付け、安全に配慮している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	0	0	スタッフ全員が参画できるようミーティングを重ね、参画できないスタッフには事前に資料を配布して意見を言える環境を作っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	年に1度の評価表に加え、必要に応じてアンケートを実施し、利用児童や保護者の意向と乖離しないよう努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	0	毎年評価表を集計し、法人HP内で公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	8	第三者評価は実施していない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	1	内部研修、外部研修を広くスタッフに呼びかけ、スタッフのスキルに合わせた研修の機会を提供している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	年度始めのフェイスシート、保護者面談、学校の指導計画、相談支援事業所のサービス等利用計画書を合わせて個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	0	0	子ども達の活動の様子を観察し、保護者、他事業所からの聞き取りを行っている。 また、年度初めのフェイスシートを保護者に記入してもらい、支援の参考にしてしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	各活動で担当を決め、意見交換をしながら行っている。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	0	季節の行事はある程度固定化されるが、子どもの状態にあわせて、教材やおもちゃ、本などを選んでい	

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	0	0	時間が短い平日は自由遊びをメインにし、休日や長期休暇に外出やイベントを入れている。また、関係を決め、細やかな対応に努めている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	子どもの気持ちを尊重し、強制ではない支援を心がけている。参加できない時はどうすれば参加できるのかスタッフ全体で話し合いをしている。支援計画も一人の意見に集約されすぎないことに気をつけ、様々なスタッフの意見を求めている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	当日のリーダーを決めており、リーダーは打ち合わせのまとめ役として、申し送り、支援内容、行事予定などをホワイトボードで見える化し確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	3	0	支援後にはおこなっていないが、帰りの送迎時に振り返りをしたり、スタッフノート等を共有して情報の漏れがないように努めている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	毎日記録をつけ、個別支援計画の作成に活かしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	6ヶ月に一度モニタリングを行い、目標の到達具合を見る。目標が達成されていれば繰り上げる場合もある。
関係機関や保護者と	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	8	0	0	地域交流の機会の提供はボランティアなどの受け入れなどでイベントを催している。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	児童発達支援管理責任者が出席している。児童発管が欠席する場合は、常勤スタッフが代わりに出席し、議事録を作成した上で児童発管に報告をしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	0	0	積極的に担任とコミュニケーションを取り、情報共有に努めている。また学校主催の管理者説明会に必ず参加している。
	22	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	1	0	整える準備はあるが、現在医療的ケアが必要な児童はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	3	0	児童発達支援事業所との間では情報の共有ができています。保育所、幼稚園とのネットワークづくりが課題。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	4	4	0	ぶくぶくからのアプローチをするなどして、改善を図りたい。

一の連携	25	じどう はったちえん 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2	0	ねん すうかい けんしゆせんか 年に数回の研修に参加している。
	26	ほうかご じどう 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	3	5	こうえん ちいき こ たち こうりゆう 公園での地域の子ども達との交流はあるが、放課後児童クラブや児童館との交流はしていない。
	27	ちいき じりつ しえん きょうきかどう せつきよくてきさんか (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	0	8	さんか 参加していない。
	28	ひごろ こ じょうきようほごしゃ つた あ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	そうげい さい かならほごしゃ かお あ どうじつ ようす 送迎の際、必ず保護者と顔を合わせて当日の様子をつた あ むずか ほご しゃ れんらくちよび 伝えている。会うことが難しい保護者には連絡帳や電んわ れんらく おこな 話、メールで連絡を行っている。
	29	ほごしゃ たいおろりよく こうじよう はか かんてん ほ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	1	0	ペアレントトレーニングは行っていないが、保護者会 ほごしゃ どうし いけんこうかんうなが こ がっこう で、保護者同士の意見交換を促し、子どもや学校へ たいおう じょうほうかん おこな の対応の情報交換を行っている。
保護者への説明責任等	30	うんえいきてい しえん ないよう りようしゃ ふたんどう 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	けいやないよう しえんほうほう か ばあい かならせつめい 契約内容や支援方法が変わる場合には必ず説明をおこな 行っている。
	31	ほごしゃ こそだ なや どう たい そうだん 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	おこな 行っている。 てきせつ しえんきかん しょうかい 適切な支援機関の紹介もしている。
	32	ふほ かい かつどう しえん ほごしゃ かしどう 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	2	0	ほうじんゆさい かぞくかい しゅさい ほごしゃ かい ひら 法人主催の家族会、ぶくぶく主催の保護者会を開き、ほごしゃ どうし いけんこうかん おこな きかい つく 保護者同士が意見交換を行える機会を作っている。
	33	こ ほごしゃ くじよう たいおう 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者にしゅうち くじよう ばあい じんそく に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適きせつ たいおう 切に対応しているか	8	0	0	くじょうたいおうたいせいせいび けいやくしよめいき 苦情対応の体制整備をし、契約書に明記している。苦じよう ばあい そ たいおう じんそく 情があった場合はマニュアルに沿って対応し、迅速にうご かつ 動けるよう努めている。
	34	ていきてき かいほう かつこう かつどうがいよう きょうじ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事よてい れんらくたいせう じょうほう こ ほごしゃ 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	ねん かい ほうじん かつどうほうこく つうしん りようしゃ 年に4回の法人の活動を報告する通信を利用者へおく 送っている。 また、年度初めに年間行事やお知らせを掲載した「ぶくぶくを利用するにあたって」という手紙を配っている。
	35	こじん じょうほう じゅうじょう 個人情報に十分注意しているか	8	0	0	Facebookなどの写真掲載や担当者会議で使用する じょうほうどういしょ 情報は同意書をいただいている。 ほうじん こじんじょうほうかんり まいとけんしゆおこな 法人でも個人情報の管理について毎年研修を行っている。
	36	しょうがい こ ほごしゃ いし そつう 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	ふりがなをふった手紙、契約書などの準備をしい むずか ばあい こべつ じかん と たいおう する。難しい場合は個別に時間を取って対応している。
37	じぎょうしょ きょうじ ちいき じゅうみんしょうたい どうちいき 事業所の行事に地域住民を招待する等地域ひら じぎょうらんえい はか に開かれた事業運営を図っているか	4	3	1	ほうじん ちいき ひら じぎょうしょ ぎょうじ 法人として地域に開かれた事業所であるよう、行事のけいからんえいすず 計画・運営を進めていきたい。	

非常時等の対応	③⑧	きんきゅうたいおう 緊急時対応マニュアル、 はんぼうはん 防犯マニュアル、 か 感染症対応マニュアルを策定し、 んせんせい 職員や保護 しゅうち 者に周知しているか	8	0	0	ほうじぞん 法人既存のマニュアルにぶくぶくの じょうきよき 状況を照らし合 あ わ せて使用している。
	③⑨	ひじょうさいがい 非常災害の発生に備え、 はつせい 定期的に避難、 そな 救 きゅう うしゅつ 出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	ようび どの曜日の子ども訓練ができるよう こ ねんかん 年間スケジュール た を立て、 じしん 地震・ かじ 火事・ すいがい 水害を想定した訓練を行 おこな う て
	④⑩	ぎゃくたいぼうし 虐待を防止するため、 しよくいん 職員の研修機会を確 か くほ 保する等、 とう 適切な対応 たいおう をしているか	8	0	0	ほうじん 法人の研修や けんしゅとうきょうと 東京都の研修に けんしゅだんか 参加している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず ばあい 身体拘束を行 え うかについて、 しんたいほうそく 組織的に決定し、 そきてき 子どもや保 けつてい 護者に事前に十分に説明し こ うえ 了解を得た上 ごしゃ で、 じぜん 放課後等 じゅうぶん デイスパ せつめい ース計画に りようかい 記載してい え る	7	1	0	しんたいほうそく 身体拘束を行う対象児童がいない。 おこな たいしほごう 対象児童がいる場合は、 ばあい 3原則に照らし、 げんそくて 計画的に けいかくてき おこな 行っていく。
	④⑫	しょくもつ 食物アレルギーのある子どもについて、 こ いし 医師 しじ の指示書に基づく しよ 対応が もと されているか たいおう	8	0	0	たいしほごう 対象児童には、 ほごしゃ 保護者に いし 医師からの しじ 指示を受け う た書 る い 類の提出 ていしゅつ をお願いしている。 ねが
	④⑬	ひやりはつ ヒヤリハット事例集を作成して じれいしゅう 事業所内で共 さくせい 有しているか じぎょうしよない きよ うゆう	8	0	0	きょうゆう 共有している。 ぜん ミーティングで全スタッフに じょうきよき 情報共有している。